VoiceNavi

取扱説明書　パチンコ店用係員呼出・音響演出ユニット　WAV2500-P01

UMX-WAV2500P01-E080229

このたびは、WAV2500-P01 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

ご注意	●水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。 火災、故障、感電の原因になります。 ●本装置の接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、 必ず、電源を切ってから行って下さい。

目次

■	困った時に（トラブルシューティング）	2
1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	各部の名称と機能	4
5	使用電源	5
6	音声出力	5
7	音量調整	5
8	入出力信号	5
9	モードスイッチの設定	6
10	再生モードの説明と用途	7
11	タイマーモードの説明と用途	8
12	接続・配線	9
13	接続・配線　フィーバー演出A-後入力切替再生モードの場合	9
14	接続・配線　フィーバー演出B-順次記憶再生モードの場合	10
15	接続・配線　係員呼び出し一順次記憶再生モード	10
16	拡声アンプとの接続	11
17	拡声アンプとスピーカーとの接続	11
18	外部機器の制御（BUSY 出力の利用）	12
19	音源(WAVE ファイル)・カードデータ作成手順	12
20	音源（WAVE ファイル）の作成	14
21	WAVE ファイル登録・カードデータ作成	14
22	カードデータを「スマートメディア」へコピー	16
23	Flash メモリカード「スマートメディア」のセット	16
24	ウォッチドッグタイマー利用自己復旧機能	16
	WAVE ファイル録音ソフト	17
	設置	17
	外形寸法図	17
	標準仕様	18

VoiceNavi 三共電子株式会社
http://www.voicenavi.co.jp
E-mail:info@voicenavi.co.jp

■困った時に（トラブルシューティング）

困った状態	LED表示	原因	対処方法
電源 LED が点灯しない	POWER の LED が点灯しない	電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		極性が間違っている	接続を点検し、接続します。
再生しない接点･アドレスがある		接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再接続
	PLAY の LED が点滅 *1	その接点･アドレスに対応した WAVE ファイルがない	カードにコピーした際、漏れが生じたので、その WAVE ファイルをコピーします。
再生しない WAVE ファイルがある	PLAY の LED が点滅 *1	WAV シリーズで認識できない WAVE ファイル	流通している WAVE ファイルやある WAVE ファイル録音ソフトで録音したものは WAV シリーズで認識できないものがあります。WindowsOS アクセサリのサウンドレコーダー等で開き、別のファイル名で保存し、VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)で登録して下さい。
まったく再生しない	PLAY の LED が点滅 *2	スマートメディアがフォーマットされていない	12項を参照の上、スマートメディアをフォーマットし、データ(wpj ファイル, WAVE ファイル)をコピーします。
	PLAY の LED が点滅 *2	カード内にカードデータファイル(xxx. wpj)がない	VoiceMaker3 (または VoiceNavi Editor)でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。データファイルがない場合、(または VoiceNavi Editor)で作成し、コピーします。
	PLAY の LED が点滅 *1	WAVE ファイル(xxx. wav)がカード内にない	VoiceMaker3 (または VoiceNavi Editor)でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。ない場合、WAVE ファイルをコピーします。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し(特に COM 端子部)、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
再生していたが、再生しなくなった	PLAY の LED が点滅	カードとカードとの接触不良	電源 ONOFF で再生可否の確認。 再生しない場合、電源OFF状態で、カードを一旦、抜き、再挿入して再生可否の確認。
		落雷ノイズ等で CPU 暴走	ノイズレベルによりウォッチドックタイマー自己復旧は機能しない場合があります。電源 ONOFF で「リセット」して下さい。
再生するが、時々、リセット状態	ALM LED が点灯	ノイズ等で CPU 暴走	ウォッチドックタイマー自己復旧しているが、ALM LED、ALM 端子は出力を保持。電源ライン、信号ライン、近所にモーター等ノイズ源をノイズ対策します。
入力接点と再生する内容が合っていない。		設定ミス	VoiceMaker3 でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
組立再生しない、順序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しない、回数が違う		設定ミス	VoiceMaker3 (または VoiceNavi Editor)でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
カーがカードコネクタの奥まで入らない		挿入方向違い	挿入方向を確認し、再挿入

(注) *1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

*2 PLAYのLEDが点滅した状態で、再生起動を行うとALARMのLEDが点灯します。

再生しない場合の簡単なチェック方法	● スマートメディアのフォーマット ● カードデータファイル .wpj の有無 ● WAVE ファイル .wav の有無	MODE1 再生モード「通常再生」「タイマー 0 秒」に設定します。 MODE2 1-8 まで「全て ON」に設定します。 電源 ON にして、再生するか点検します。
VoiceMaker3 (VoiceNavi Editor) がある場合	● メッセージ･接点端子の割付け ● WAVE ファイル.wpj の試聴 ● レポート印刷	スマートメディア内のデータを、事前に VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)	CardData フォルダーに収納するフォルダを作成してコピーします。 コピー後、VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)を起動し、WAVE ファイル登録画面でカードデータファイル.wpj を読み込み、画面表示、印刷、試聴して登録内容を確認します。

1.概要

WAV2500-P01 はパチンコ店において、島単位でパチンコ・パチスロの大当たり時、係員を効果音・擬音や音声メッセージによる呼び出しを行う音源に WAVE ファイル、記憶媒体にデジカメのメモリカード「スマートメディア」を採用したパチンコ店用係員呼出・音響演出ユニットです。
レベル信号対応の順次記憶再生モード搭載、最大 16 台までの個別演出もできます。
また AC 電源内蔵、5W のスピーカーアンプを搭載していますので、スピーカーを直接接続できます。ライン出力端子装備で外部アンプもご使用できます。
音源も WindoiwsOSの標準サウンド「WAVE ファイル」採用により、使用するファンファーレ、アナウンスもお手持ちのパソコンで手軽に録音・登録できます。
また記憶媒体も市販のデジカメ用 Flash カード「スマートメディア」採用によるデータに書換えやカード交換が手軽に出来ます。

2.特長

- ●「島」単位で店員呼出アナウンスができます
- ●レベル信号対応の順次記憶再生モード搭載
- ●最大 16 台までの個別演出もできます
- ●音源に WindowsOS の標準サウンド「WAVE ファイル」採用で、お手持ちのパソコンで録音・登録ができます
- ●市販のデジカメのメモリ F カード「スマートメディア」採用でデータ書換え・カード交換が容易にできます
- ●ライン出力装備で外部アンプも接続できます
- ●5W スピーカーアンプ搭載
- ●再生中信号出力端子装備で照明演出対応
- ●AC100V 電源

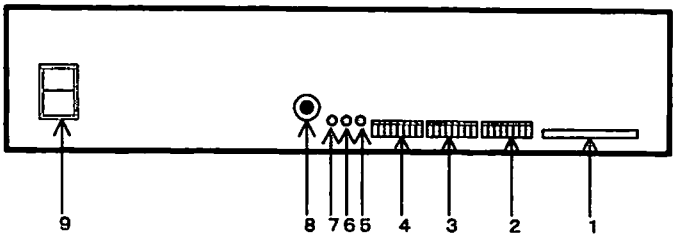
3.主な用途

■パーラー「島」用店員呼出アナウンス	「ピンポンピンポン＋11 番ブロック＋係員、点検して下さい」
■パーラー用無線インターカムの音源	

4. 各部の名称と機能

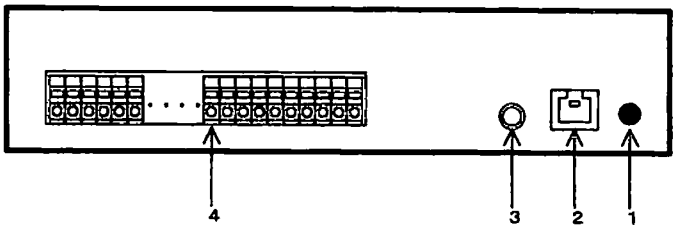
■フロントパネル

No.	名称
1	カード挿入口
2	MODE3 スイッチ
3	MODE2 スイッチ
4	MODE1 スイッチ
5	PLAY(再生中)LED
6	POWER LED
7	ALARM LED
8	音量ボリューム
9	電源スイッチ



■リアパネル

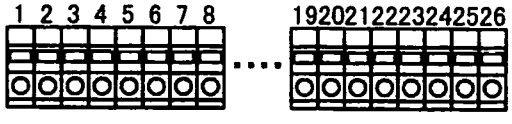
No.	名称
1	AC100V 電源用コード
2	ヒューズホルダー(0. 5A)
3	ラインアウト用ジャック
4	スクリューレス端子台



■端子台ピンアサイン

No.	表示	I/O	レベル(H/L)	説明
1	COM	I	L	信号用GND
2	ALM	O	L	ビジー信号出力
3	BUSY	O	L	ビジー信号出力
4	OP	I	L	OP(STB)信号
5	STOP	I	L	ストップ信号入力
6	16	I	L	SW16
7	15	I	L	SW15
8	14	I	L	SW14
9	13	I	L	SW13
10	12	I	L	SW12
11	11	I	L	SW11
12	10	I	L	SW10
13	9	I	L	SW9
14	8	I	L	SW8/D7
15	7	I	L	SW7/D6
16	6	I	L	SW6/D5
17	5	I	L	SW5/D4
18	4	I	L	SW4/D3
19	3	I	L	SW3/D2
20	2	I	L	SW2/D1
21	1	I	L	SW1/D0
22	COM	I	L	信号用GND
23	+(SP OUT)	O		スピーカ出力+側
24	−(SP OUT)	O		スピーカ出力−側
25	+(DC IN)	I		DC+24V電源入力
26	GND(DC IN)	I		同上−入力

スクリューレス端子台



サトーパーツ：ML−800S1H26P

(注)適合電線

撚線：0.3mm²～1.25mm²(AWG22～AWG16)

素線径：φ0.18以上

5.使用電源

商用電源 AC100V 電源をご使用下さい。

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
AC100V 電源	AC85V～132V 50/60Hz	約 80mA	約 250mA	ヒューズ 0.5A
DC 電源	DC+24V±5%	約 100mA	約 500mA	左記消費電流は DC+24V 時

落雷対策	AC 電源ラインにパソコン用のサージキラー付きコンセントをご使用下さい。

6.音声出力

拡声アンプを使用する場合、ライン出力に接続します。

接続には市販のミニジャック付きケーブルを加工してご使用下さい。

出　力	出 力 内 容	接続
ライン出力	600Ω −12dBm～2dBm 不平衡	ミニジャック(モノラル) φ3.5mm
スピーカー出力	5W max.8Ω	スクリューレス端子台

(注)ライン出力、スピーカー出力は同時に使用できます。

7.音量調整

ライン出力の音量調整は本体の上カバーをはずし、基板上の半固定ボリューム VR2 を調整します。

出　力	調 整 方 法
ライン出力	半固定ボリューム VR2(基板上)
スピーカー出力	シャフト式可変ボリューム

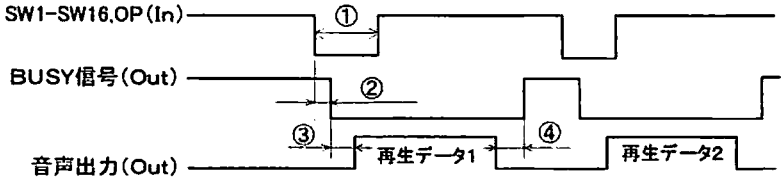
8.入出力信号

無電圧メーク接点信号(または NPN オープンコレクタ)で使用します。

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/SW1-16	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/OP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	
/ALM	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	

■信号のタイミング

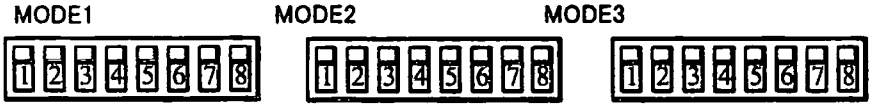
No.	信号名称	時間
①	SW, OP入力時間	50mS以上
②	BUSY出力タイミング	50mS
③	音声出力タイミング	10mS
④	音声終了タイミング	10mS



9.モードスイッチの設定

電源を切って設定します。(注)電源 ON 時、設定内容を識別します。

スイッチ名	設定内容
MODE1	再生モード　MODE1 SW No.1-3 タイマー時間　MODE1 SW No.6-8
MODE2	再生テスト用
MODE3	再生テスト用 (原則として未使用)



■再生モードの設定

MODE1 の No.1-3　●－ON

1	2	3	4	5	6	7	8		再生モード	
								1	通常再生モード	再生テスト用
●								2	後入力切替再生モード	係員呼出 A
●	●							3	順次記憶再生モード	係員呼出 B
		●						4	記憶エンドレス再生モード	係員呼出 C

■タイマーの設定　MODE1 No.6-8

タイマーは「通常再生モード」時は従来通りのインターバルタイマーとして使用し、「順次記憶再生モード」時のスイッチ入力時間のインターバルとして使用します。

MODE1 の No.6-8　●—ON

1	2	3	4	5	6	7	8		再生モード
								1	インターバルタイマー 15 秒
					●			2	インターバルタイマー 30 秒
						●		3	インターバルタイマー 45 秒
					●	●		4	インターバルタイマー 60 秒
							●	5	タイマー無し

■テスト用 MODE2・MODE3 No.1-8

本スイッチはテスト用です。

SW1-16 と同一動作をします。 ONOFF でワンショット入力になります。

1	2	3	4	5	6	7	8		MODE2	MODE3
●								1	SW1 ON と同一動作	SW9 ON と同一動作
	●							2	SW2 ON と同一動作	SW10 ON と同一動作
		●						3	SW3 ON と同一動作	SW11 ON と同一動作
			●					4	SW4 ON と同一動作	SW12 ON と同一動作
				●				5	SW5 ON と同一動作	SW13 ON と同一動作
					●			6	SW6 ON と同一動作	SW14 ON と同一動作
						●		7	SW7 ON と同一動作	SW15 ON と同一動作
							●	8	SW8 ON と同一動作	SW16 ON と同一動作

10.再生モードの説明と用途

用途	再生モード	備考
係員呼出	後入力切換再生モード	ワンラインで SW1(X)に接続して使用
	順次記憶再生モード	原則として台毎に接続
	記憶エンドレス再生モード	原則として台毎に接続
データの再生テスト	通常再生モード	モード2・3の SW の ONOFF で使用

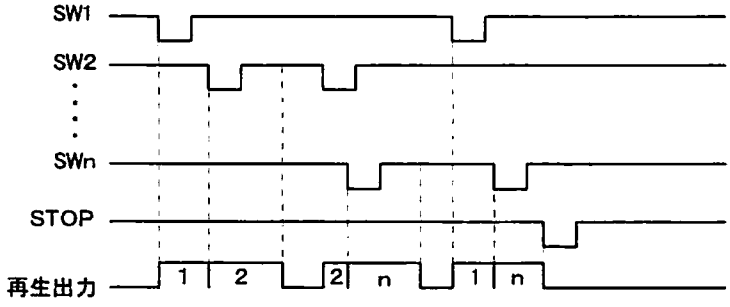
■後入力切替再生モード

ワンショット入力　　(注)レベル入力不可

① 再生はワンショット入力のみの1回再生になります。

② 再生中は、当該SWを含む全てのSWを検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセーに切り替わります。

③ ストップ信号入力で即停止します。



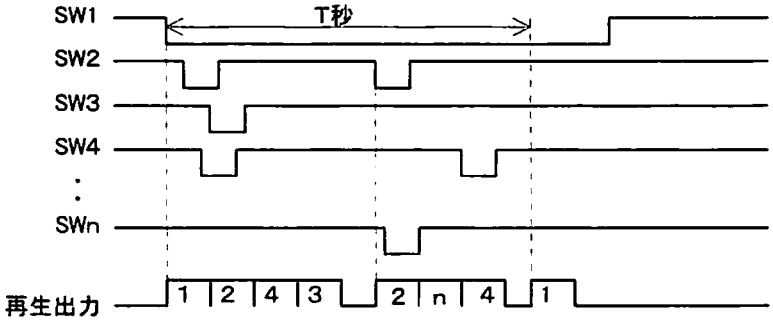
■順次記憶再生モード

ワンショット入力　レベル入力(ワンショット入力として記憶)

① 再生はワンショット入力の1回再生になります。
レベル入力はワンショット入力と見なされ1回再生になりますが、T秒以上レベル入力が続いた時は再度再生を行ないます。(T秒はMODE1スイッチにより15秒～60秒に設定可)

② 再生中は、当該SWを含む全てのSW入力を検出し、入力があったSWを記憶し、入力順に順次再生が行われます。入力 SW の記憶数は32入力 max

③ ストップ信号入力で即停止し、記憶がクリアーされます。



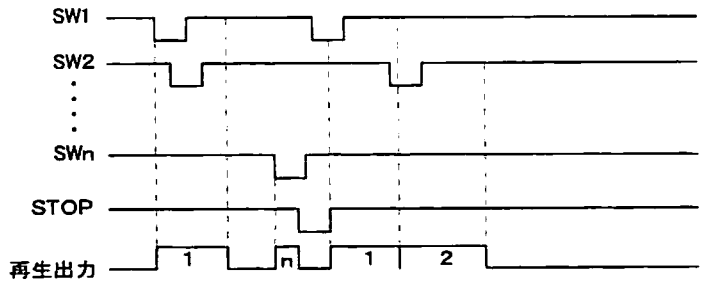
■通常再生モード(データの再生テスト用)

●ワンパルス入力時

① 再生は一回のみ再生で、再生中は他の入力は見ません。

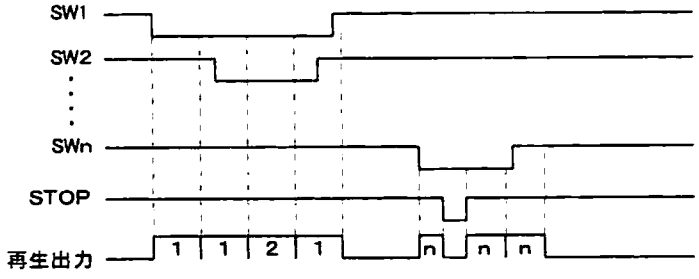
② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

③ ストップ信号入力により、即停止します。



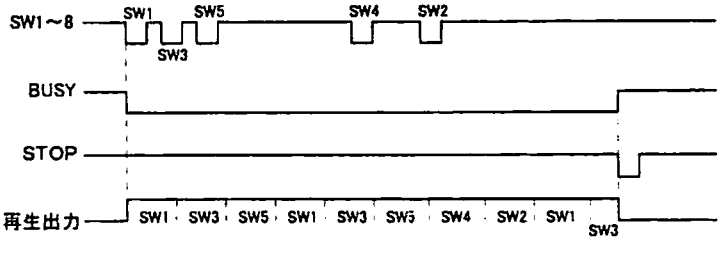
●レベル入力時

① レベル入力の場合はリピート再生で、再生中は他の入力は見ません。
② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。
③ ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。



■記憶エンドレス再生モード・・・係員呼出

① 再生はワンショット入力のみのエンドレス再生になります。
② 再生中は、当該SW以外の全てのSW入力を検出し、入力があったSWを記憶し、入力順に順次繰り返しのエンドレス再生が行われます。入力 SW の記憶数は 8 入力 max
③ ストップ信号入力で即停止し、記憶がクリアーされます。



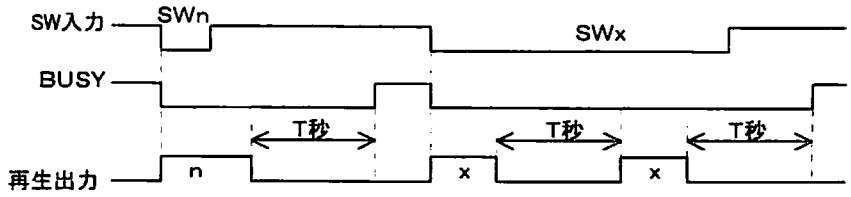
11.タイマーの説明と用途

本モードは下記の用途・再生モードで使用します。

使用用途	再生モード	タイマー	備考
係員呼び出し	順次記憶再生モード	30 秒(0～60 秒)	オルタネイト SW

本モードでは、通常、オルタネイト(ロック)スイッチを使用します。
係員呼び出し用の押しボタンを ON しますと、その段階で 1 回、アナウンスします。
タイマー時間経過毎に、そのスイッチを検知し、入力がある場合、アナウンスします。

モーメンタリ(ワンショット)スイッチでは、ON されるごとに記憶し、順番に再生します。



SW 入力にて当該メッセージが再生され、再生終了後に上記モードスイッチにて設定された
タイマー時間(15 秒～60 秒)が作動し、経過後に BUSY 信号がオフします。

12.接続・配線

本書記載の「各部の名称・機能」と下記の「参考例・接続参考図」を参照し、接続して下さい。

■パチンコ・パチスロ台との接続と再生モードとタイマーの設定

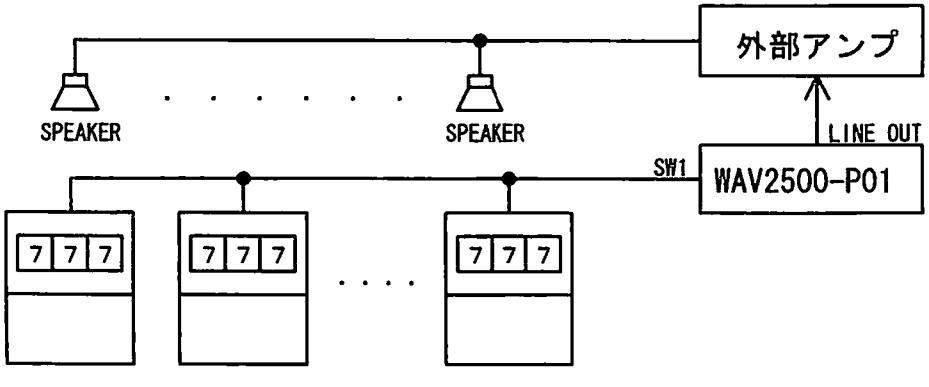
使用用途	再生モード	タイマー	備考
係員呼び出し	後入力切替再生モード	0 秒	1 ライン接続
	順次記憶再生モード	0 秒	台別接続
	順次記憶再生モード	30 秒	オルタネイト SW

ご注意	接続する場合、必ず電源を切って下さい。 AC電源とDC電源の併用はできません、必ずどちらか一方を使用下さい。 DC 電源には＋－の極性がありますのご注意下さい。 信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。 信号入出力、SP、LINE の配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。 必要に応じてシールド線等をご使用下さい。

13. 接続・配線　後入力切替再生モードの場合

各台の大当たり信号を 1 ライン(共通線)に接続し、WAV2500-P01 の SW1(SW X)に接続します。

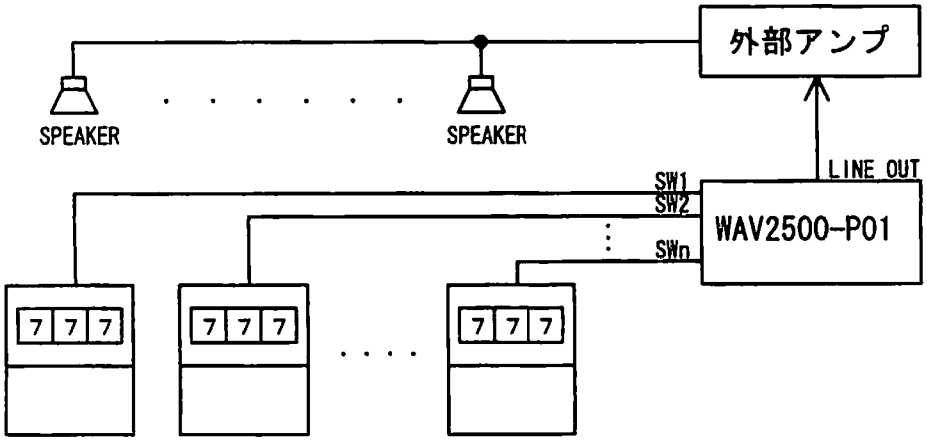
再生モード	後入力切替再生モード
タイマー	0 秒
データ登録	SW1(アドレス 001)



14. 接続・配線　順次記憶再生モードの場合

各台の大当たり信号を個別に WAV2500-P01 の SW1-16 に接続します。

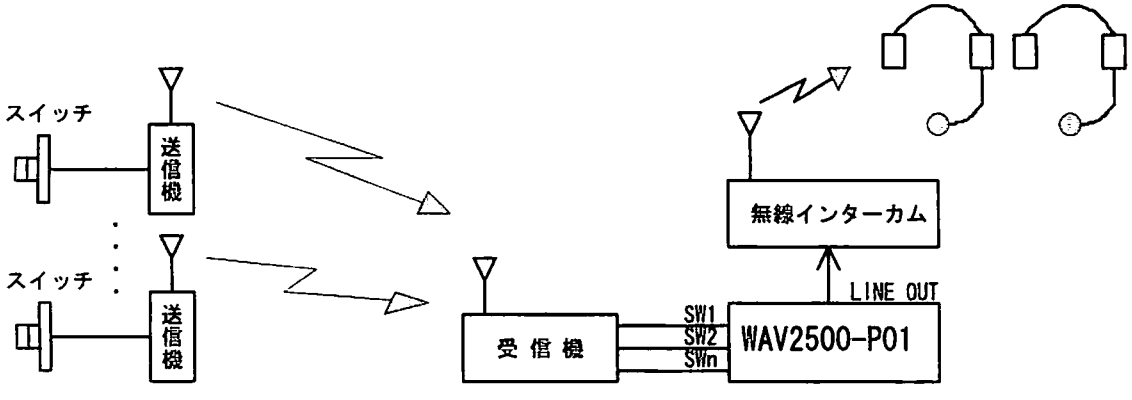
再生モード	順次記憶再生モード
タイマー	0 秒
データ登録	SW1-16(アドレス 001-016)



15. 接続・配線　順次記憶再生モード

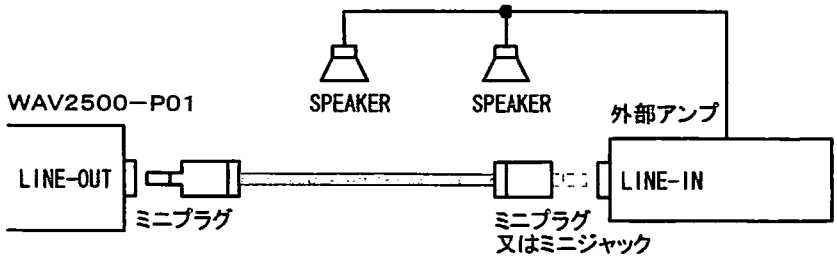
押しボタンは照明式オルタネイトスイッチ(ロックスイッチ)を使用します。
スイッチ ON 時に 1 回再生、30 秒毎に再生をリピートします。
係員がスイッチを解除します。

再生モード	順次記憶再生モード
タイマー	30 秒　(オルタネイト SW 使用時)
データ登録	SW1-16(アドレス 001-016)



16. 拡声アンプとの接続

市販のミニプラグケーブル(モノラル)を加工して、拡声アンプのライン入力と接続します。



17. 拡声アンプとスピーカーとの接続

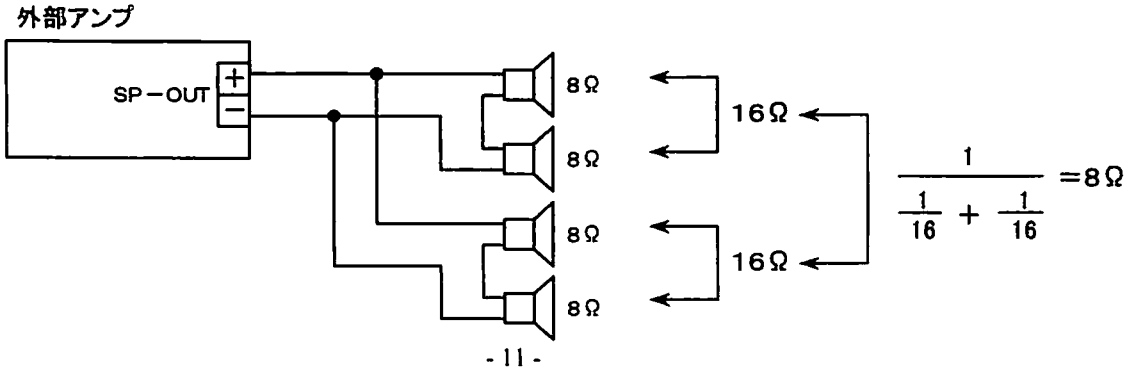
島では、スピーカーを複数設置すると効果的演出ができます。
ローインピーダンス 8Ωスピ-カーを複数接続する場合、下記の条件を厳守して、ご使用下さい。
下記の条件を厳守しない場合、拡声アンプのアンプIC等が破損する場合があります。

拡声アンプ	BOSE(ボーズ)など小型・高出力アンプを推奨。 アンプ定格出力≧スピーカー最大出力×スピーカー台数 (例)20W 以上＝5W×4 台　＝＞30～40W アンプ 12W 以上＝3W×4 台　＝＞20～30W アンプ
スピーカー	最大(定格) 8Ω 3W または 5W 音色・音量などはスピーカーによって異なります。 実機で評価し、現場に合ったスピーカーを選択して下さい。 (注)一般的に口径の大きなスピーカーが大きく聞こえる。 但し、BOSE(ボーズ)など小型・高出力のものもあります。
配線	1. 複数接続の場合、線抵抗を少なくするため、太い線をご使用下さい。 2. ノイズ防止のため、シールド線をご使用下さい。 3. 最長 50m 程度 (線抵抗を考慮して下さい)
接続方法	下記のシリアル-パラレル接続(直列-並列接続)で接続します。 合計抵抗値＝8Ω (注)拡声アンプの出力能力に余力がある場合、4Ω程度でも可能。

■スピーカーを 4 台接続する場合 (シリアル−パラレル接続)

ご注意	スピーカーのΩ数の合計値が 8Ωになるように接続して下さい。

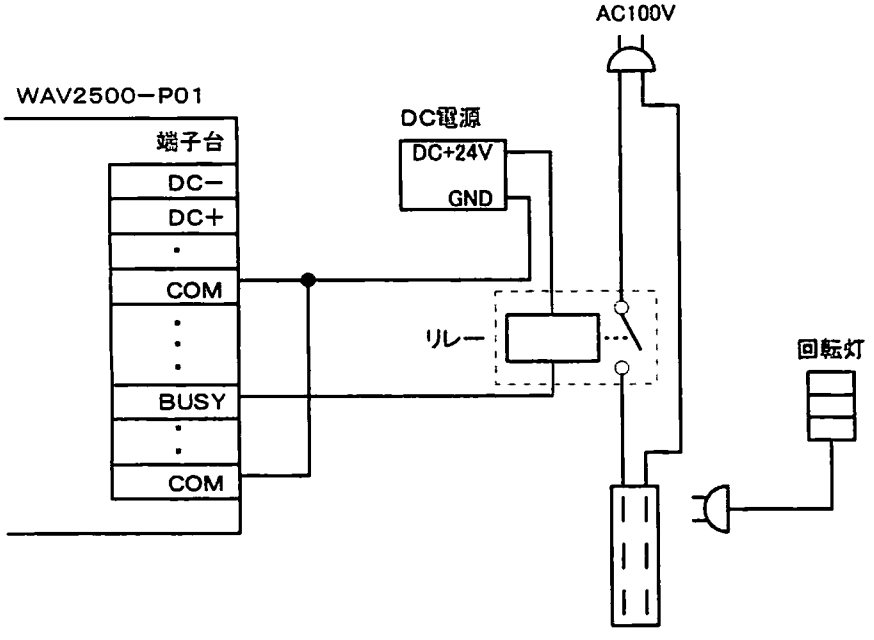
拡声アンプ　20-40W　　ローインピーダンス用アンプメーカー　BOSE(ボーズ)他
スピーカー　5Wmax. 8Ω



18. 外部機器の制御(BUSY 出力)

WAV2500-P01 の再生時、BUSY 出力します。(タイマー作動時も含む)
トランジスタ出力で駆動できる外部機器の電気容量に制限があります。
リーレーなどを介して、外部機器を制御するようにして下さい。

BUSY 出力	オープンコレクタ出力　(DC+50V, 500mA)



19.音源(WAVE ファイル)・カードデータ作成手順

下記の手順でデータ入り Flash メモリカード「スマートメディア」の作成します。

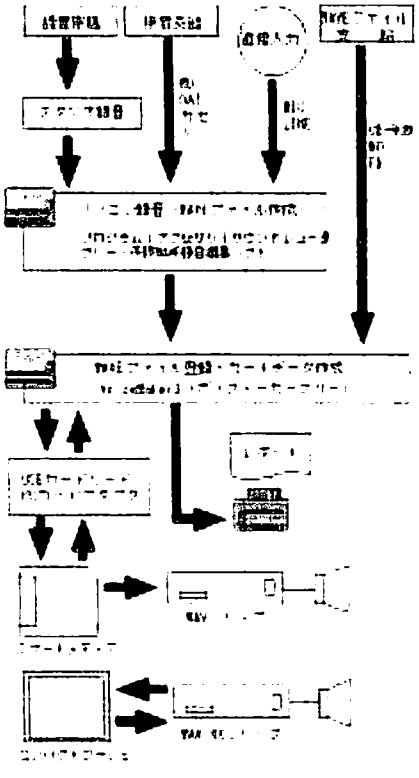
No.	項目		内容
1	WAVE ファイル製作 (パソコン録音)	フリーソフト 市販ソフト WindowOS 付属ソフト 「サウンドレコーダ」	Windows パソコンの録音機能を使用し、MIC または外部機器を接続して、録音し、WAVE ファイルを作成します。通常、市販・フリーウェアの WAVE ファイル録音・編集ソフトでメッセージの前後の無音をカット・追加などの編集を行います。
2	WAVE ファイル登録	サポートソフト VoiceMaker3 (または VoiceNavi Editor)	サポートソフト VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)の WAVE ファイル登録画面で上記の WAVE ファイルを、登録します。 また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。
3	アドレス登録 プログラム再生登録	サポートソフト VoiceMaker3 (または VoiceNavi Editor)	サポートソフト VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)のアドレス・プログラム登録画面上でアドレスに WAVE ファイルを割付けします。また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。
4	カードデータファイル作成	サポートソフト VoiceMaker3 (または VoiceNavi Editor)	サポートソフト VoiceMaker3(または CoiceNavi Editor)のカードデータ作成画面で所定事項を入力し、カードデータファイルを作成します。
5	レポート出力(印刷)	サポートソフト VoiceMaker3 (または VoiceNavi Editor)	必要に応じて、ドキュメントを印刷します。
6	スマートメディアへのコピー	カードアダプタ	上記 2.で作成した WAVE ファイル XXX.wav とカードデータファイル XXX.wpj をスマートメディアにコピーします。

■自社で、音源・WAVE ファイル作成・カードデータ作成を行う場合

ハード	パソコン	Windows XP/2000
	音響機器	MIC MD デッキ等
	カードアダプタ	128MB 対応を推奨
ソフト	録音・編集	WindowsOS 付属の「サウンドレコーダ」でも録音・編集できます。 フリー・市販ソフトを推奨します。 フリーソフト 「Sound Engine」「ウェーブパセリ」他 市販ソフト 「Sound It」他
	リッピング	ファンファーレなどのフリー音源CD等のデータを WAVE ファイルにする際に使用します。 MP3 作成ソフト Jet Audio 他 WAVE 録音ソフト WAVE FX 他
	WAVE ファイル登録・カード作成	サポートソフト VoiceMaker3 (ボイスナビ エディタ) (注)サポートソフト VoiceNavi Editor もご使用できます。

■WAVE ファイルがあり、カードデータ作成のみを行う場合

ハード	パソコン	Windows XP/2000
	カードアダプタ	128MB 対応を推奨
ソフト	WAVE ファイル登録・カード作成	サポートソフト VoiceMaker3 (ボイスナビ エディタ) (注)サポートソフト VoiceNavi Editor もご使用できます。



自社録音 原音支給	MD 等で録音します。 または原音を用意します。
スタジオ録音	録音原稿を作成・用意します。
パソコン録音 WAVE ファイル作成	Windows パソコンで録音。 WAVE ファイルを作成・ファイル保存します。
カードデータ作成 WAVE ファイル登録 アドレス登録 プログラム再生登録	サポートソフト VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)で WAVE ファイル登録・アドレス・プログラム再生登録・カードデータ作成
Flash カードへコピー	USB カードアダプタや PC カードアダプタを使用してカードデータファイルと WAVE ファイルをコピー。
Flash カードのセット	WAV・WAV-RX シリーズに Flash カードをセット。

20. 音源(WAVE ファイル)の作成　WAVE 録音ソフト参照

録音・WAVE ファイル作成の場合、MDデッキなど録音機器や使用するソフトの取扱説明書を読み、行って下さい。 (注)アナログ・デジタル録音やソフトの知識が必要です。

適用 WAVE ファイル	サンプリング	44.1KHz 8Bit Mono 推奨 44.1/22.05/11.025KHz PCM 8Bit MONO 48.0/32.0/16.0KHz PCM 8Bit MONO
	ファイル名	アルファベット英数字 8.3 形式のファイル名 (禁止文字) - ( ) など
	1ファイルの制限容量	1WAVE ファイル 16MB 未満以内 (例) 44.1KHz 8Bit Mono の場合 約 4. 8 分 max.

21. WAVE ファイル登録・カードデータ作成　詳細は登録エディタ VoiceMaker3 参照

登録エディタ VoiceMaker3 上の WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム再生登録を行い、カードデータを作成します。
登録の際、登録エディタ VoiceMaker3 上で試聴シュミレーションができます。

■サポートソフト VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)上での手順

1	WAVE ファイル登録	使用する WAVE ファイルを登録します。
2	アドレス・プログラム再生登録	上記で登録した WAVE ファイルを接点端子(アドレス)に登録します。 この際、各接点端子(アドレス)に組立再生・リピート回数再生の登録・設定ができます。
3	カードデータ作成	作成者、作成日などの作成情報を入力し、カードデータを作成します。 下記の場所に作成したカードデータのフォルダができます。 | プログラム | VoiceMaker3| CardData |内 | プログラム | VoiceNavi Editor| CardData|内
4	レポート出力	下記の情報を印刷できます。 ・ WAVE ファイル登録情報 ・ アドレス・プログラム再生登録情報 ・ カードデータ作成情報

■WAVE ファイル登録

WAVE ファイル登録画面で使用する WAVE ファイルを事前に登録します。試聴できます。

■アドレス・プログラム再生登録

アドレス・プログラム再生登録画面で、該当する接点端子(アドレス)に WAVE ファイルを登録します。WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルが何回でも登録できます。
またスイッチ(アドレス)毎に最大 8WAVE ファイルまでの組立再生、5 回までのリピート回数再生の設定ができます。試聴できます。

端子台	VoiceMaker3(または VoiceNavi Editor)上のアドレス・プログラム再生登録画面 No.	組立再生登録	リピート回数登録
SW1	001	8wav ファイル max.	5 回 max.
SW2	002		
SW3	003		
SW4	004		

SW5	005		
SW6	006		
SW7	007		
SW8	008		
SW9	009		
SW10	010		
SW11	011		
SW12	012		
SW13	013		
SW14	014		
SW15	015		
SW16	016		

登録画面

No.	SP	R	1	2	3	・・・	8
001	1	1	音楽 A	音声1	音声 2		
002	1	1					

SW1(001)＝＞音楽A＋音声1＋音声2

■カードデータ作成

カードデータ作成画面で、カード名称、カードデータファイル名、作成日、作成者など入力して、作成ボタンを押します。

下記の場所に作成したカードカードデータのフォルダができます。

| プログラム | VoiceMaker3| CardData |カードデータフォルダ名 |

| プログラム | VoiceNavi Editor| CardData |カードデータフォルダ名 |

上記のフォルダ内にカードデータファイル（.wpj)を作成し、を収納元のフォルダから登録した WAVE ファイル(.wav)を複写します。

22.カードデータを「スマートメディア」へコピー　カードアダプタの取扱説明書参照

上記で作成したカードデータ —カードデータファイル（.wpj)と WAVE ファイル(.wav)を Flash カード「スマートメディア」にコピー(複写)します。

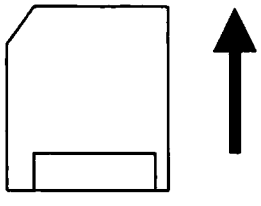
1	カードのフォーマット(初期化)	カードアダプタ	市販の「スマートメディア」はデジタルカメラのフォーマットです。そのままでは使用できます。 デジカメ等で使用した場合は、FAT16 でフォーマットします。 (注)FAT32 フォーマットでは認識できません。
2	カードデータのコピー	カードアダプタ	上記フォルダ内の—カードデータファイル（.wpj)とWAVE ファイル(.wav)を「スマートメディア」にコピーします。

適用メモリカード	「スマートメディア」 8/16/32/64/128MB　　3.3V タイプ	ID 付・ID 無し・・どちらでも可 購入した場合、パソコン上でフォーマット(初期化)してご使用下さい

適用 カードフォーマット	OS	対応アダプタ
	Windows98	PC カードアダプタ USB 対応カードアダプタ
	WindowsMe	PC カードアダプタ USB 対応カードアダプタ
	Windows2000　FAT	PC カードアダプタ USB 対応カードアダプタ

23.Flash メモリカード「スマートメディア」のセット

金色接触部を下にし、カードコネクタに軽く、水平に挿入します。
最後まで確実に挿入して下さい。



24. ウォッチドッグタイマー利用自己復旧機能

外来ノイズ等により、装置内のCPUが暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーによりCPUに
強制リセットをかけます。これにより、CPUはイニシャライズされ、入力信号待機状態になります。
またこの際、ALM信号を出力し電源をOFFするまで、保持状態を続けます。
(注)強力なノイズ等の場合、本機能が機能しない場合があります。電源 ONOFF でリセットしてください。

■WAVE ファイル録音ソフト

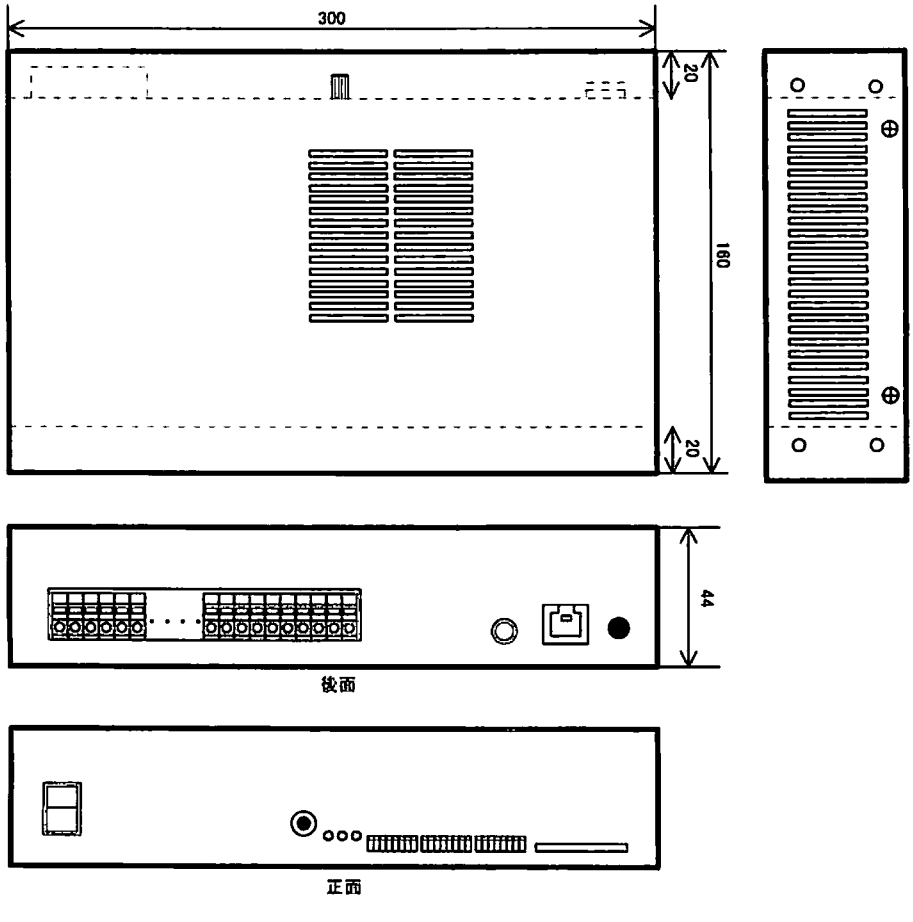
	ソフト名	内　　容
WindowsOS 付属	サウンドレコーダー	WindowsOS 付属の録音再生ソフト スタート｜プログラム｜アクセサリ｜マルチメディア｜サウンドレコーダー｜ (注)最長 1 分間までしか録音できません。
市販ソフト	Digi On Sound Light 「デジオンサウンドライト」	・複数トラック編集、加工・編集機能が充実。 ・ノイズ処理・帯域圧縮・ファイルコンバートなども充実。
	WaveFX 「ウェーブエフエックス」	・初心者でも分かりやすい操作 ・スライス機能(無音を検出、自動ファイル切りだし)。 ・ファイルコンバート機能、加工機能も充実
	Sound It ! 「サウンドイット」	・初心者でも分かりやすい操作 ・ファイルコンバート機能、加工機能も充実
フリーウェア・ シェアウェアソフト	「WavePaseri」 「サウンドエンジン」他	録音や簡単な加工程度なら充分。 但し、ファイルコンバートやノイズ処理は市販ソフトを推奨。 Vector などからダウンロード、または PC 雑誌の CD からインストールできます。

注意　■ ステレオ、16Bit の場合、「ファイルフォーマットの変換」で MONO、8Bit に変換して下さい。
(注)非常に「ノイジー」な音になる場合があります。
この場合は、MONO、8Bit で録音した WAVE ファイルをご使用下さい。

■設置

●スタンドアロン(据置)　本体をそのまま、据置設置します。　外形寸法図参照
●ビス止めによる設置　底面または側面のビズ穴を使用して固定します。
●L金具使用による設置　オプション　WAV-LKANAGU を使用して固定します。

■外観図・外形寸法図



■標準仕様

<table>
<tr><td>定格使用電圧</td><td>AC100V(AC85～132V)　50/60Hz　AC 電源コード
または DC+24V±10%　スクリューレス端子台</td></tr>
<tr><td>消費電流</td><td>AC100V 時　待機時　約 80mA　最大時　約 250mA
DC+24V 時　待機時　約 140mA　最大時　約 500mA</td></tr>
<tr><td>寸法・重量</td><td>300W X 160D X 40H mm　突起部含まず 約 2.5kg</td></tr>
<tr><td>塗装・仕上</td><td>グレー 焼付塗装</td></tr>
<tr><td>使用温度・湿度</td><td>－5℃～55℃　35%～80%RH(但し結露なき事)</td></tr>
<tr><td>保存温度</td><td>－10℃～70℃</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td>LINE 出力　600Ω　不平衡　0dBm 調整可
スピーカ出力　5Wmax 8Ω</td></tr>
<tr><td>音量調整</td><td>LINE 出力　本体内ボード上の半固定 VR2 -12dBm～2dBm
スピーカ出力　シャフト付可変ボリューム</td></tr>
<tr><td>制　御</td><td>入力部　無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ /SW1-16 /STOP
出力部　オープンコレクタ出力(DC＋50V, 500mA) /BUSY /ALM</td></tr>
<tr><td>再生モード
タイマー</td><td>用途に合わせ、DIPSW で設定
<table>
<tr><td>係員呼び出し用 1</td><td>後入力切替再生モード</td><td>1 ライン接続</td></tr>
<tr><td></td><td>順次記憶再生モード</td><td>台別接続 16 台 max</td></tr>
<tr><td>係員呼び出し用 2</td><td>順次記憶再生モード</td><td>台別接続 16 台 max</td></tr>
<tr><td></td><td>記憶エンドレス再生モード</td><td>台別接続 16 台 max</td></tr>
<tr><td></td><td>後入力切替再生モード</td><td>1 ライン接続</td></tr>
<tr><td>テスト用</td><td>通常再生モード</td><td>DIPSW 使用</td></tr>
</table>
インターバルタイマー: 0/10/15/20/30/40/45/60 秒　(DIPSW で設定)</td></tr>
<tr><td>適用メモリカード</td><td>フラシュメモリカード「スマートメディア」 8/16/32/64/128　3.3V タイプ　1 枚 max.
適用フォーマット: Windows95/98/ME/2000(FAT) 対応</td></tr>
<tr><td>再生チャンネル数</td><td>●接点制御 16 接点 max　プログラム再生登録対応</td></tr>
<tr><td>再生方式</td><td>WAVE ファイル 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz　PCM 8Bit モノラル</td></tr>
<tr><td>再生帯域</td><td>300Hz～10KHz</td></tr>
<tr><td>登録時間</td><td>カード容量と WAVE ファイルのサンプリング周波数による
<table>
<tr><td></td><td>44.1KHz</td></tr>
<tr><td>32MB</td><td>11.2 分</td></tr>
<tr><td>64MB</td><td>22.4 分</td></tr>
<tr><td>128MB</td><td>44.8 分</td></tr>
</table>
(注) 1WAVE ファイル制限 16MB 未満</td></tr>
<tr><td>再生時間</td><td>登録した時間
またはプログラム再生登録した場合、プログラム内容による</td></tr>
<tr><td>プログラム再生
登録機能</td><td>本機能は、カードデータ作成ソフト VoiceMaker3(または VoicenNavi Editor)上で設定します。
組立再生登録　1 接点 8 WAVE ファイル max.
リピート回数登録　1 接点 5 回 max.</td></tr>
<tr><td>適用音源・録音装置</td><td>WAVE ファイル　PCM 8Bit Mono
Windows XP/2000 パソコンの録音機能による</td></tr>
<tr><td>カードデータ作成ソフト</td><td>サポートソフト VoiceMaker3 (または VoicenNavi Editor)</td></tr>
</table>

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38　TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

URL http://www.voicenavi.co.jp　E-mail info@voicenavi.co.jp